

「プリンス」は発売60周年

メロン3品種で「周年イヤー」

サカタのタネ

サカタのタネ（坂田宏社長、横浜市都筑区）が開発したメロン「プリンス」「アンデス」「ころたん」が、今年でそれぞれ発売から60周年、発表か

ら45周年、本格販売から10周年と、節目の「周年イヤー」を迎えた。同社では今年、アンデスの青果（山形県産）のPR販売などを予定している。

売。60年代の日本ではメロンといえば網目（ネット）が特徴の「マスクメロン」で、非常に高価なものだった。こうした中、「手頃な価格で購入

できるおいしいメロン」として開発。露地栽培が可能なおことから手頃な価格で提供できるうえ、露地メロンとしては糖度が高く果肉も柔らかいことから栽培・消費が拡大し、メロンの大衆化の先駆けとなった。

現在では熊本県球磨地域、鳥取県倉吉市、茨城県宇城地域および球磨地域、茨城県銚田市および茨城町、山形県庄内地域を中心に栽培されている。

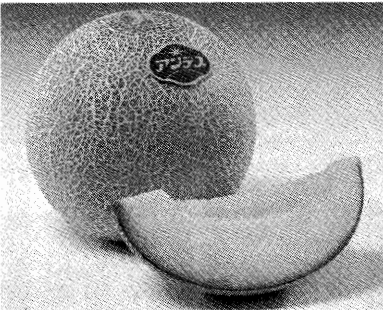
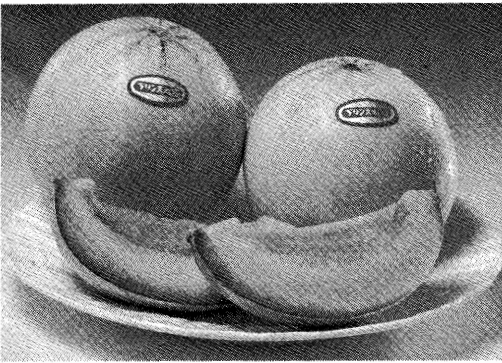
「アンデス」は、温室よりコストのかからないハウスでの栽培ができるネットメロンとして開発し、77年に発表した。それまでのメロンは品質が安定しにくく、「当たり外れ」が見られた。アンデスは手頃な価格で売

でき、果肉の質、甘みが安定し、日持ちも良いという特性を備える。名前は「作って安心、売って安心、食べて安心」の「アンシンデス」から「芯（シン）」をとった。

現在では、熊本市、熊本県宇城地域および球磨地域、茨城県銚田市および茨城町、山形県庄内地域を中心に栽培されている。

「ころたん」は家庭菜園向けのネットメロンで、2012年に苗の本格販売を開始した。食べ切りのできるサイズで、果皮が薄く皮のぎりぎり

まで食べることができ、安定に向けた定期的な情報交流などを行っている。さらに、各種の販促活動を展開し、消費拡大につなげていくこととしている。



発売60周年の「プリンス」(上)と発表45周年の「アンデス」

「プリンス」は1962年に種子を発売。60年代の日本ではメロンといえは網目（ネット）が特徴の「マスクメロン」で、非常に高価なものだった。こうした中、「手頃な価格で購入できるおいしいメロン」として開発。露地栽培が可能なおことから手頃な価格で提供できるうえ、露地メロンとしては糖度が高く果肉も柔らかいことから栽培・消費が拡大し、メロンの大衆化の先駆けとなった。

現在では熊本県球磨地域、鳥取県倉吉市、茨城県宇城地域および球磨地域、茨城県銚田市および茨城町、山形県庄内地域を中心に栽培されている。

「アンデス」は、温室よりコストのかからないハウスでの栽培ができるネットメロンとして開発し、77年に発表した。それまでのメロンは品質が安定しにくく、「当たり外れ」が見られた。アンデスは手頃な価格で売

でき、果肉の質、甘みが安定し、日持ちも良いという特性を備える。名前は「作って安心、売って安心、食べて安心」の「アンシンデス」から「芯（シン）」をとった。

現在では、熊本市、熊本県宇城地域および球磨地域、茨城県銚田市および茨城町、山形県庄内地域を中心に栽培されている。

「ころたん」は家庭菜園向けのネットメロンで、2012年に苗の本格販売を開始した。食べ切りのできるサイズで、果皮が薄く皮のぎりぎり

まで食べることができ、安定に向けた定期的な情報交流などを行っている。さらに、各種の販促活動を展開し、消費拡大につなげていくこととしている。